

【現代政策学部】WSP 学生による編転入生支援活動を行いました

現代政策学部は今年度、WSP*制度を導入しました。

初めての WSP 活動として、10 月 24-25 日の 5 限の時間帯に、WSP 学生による編転入生支援活動を行いました。

今回の活動に従事した WSP 学生は 3-4 年生の学生（富田さん、大竹さん、渡辺さん、加藤さん）4 名でした。

4 名の WSP 学生は、事前にオンライン研修を受けて本活動に従事しました。

初日に挨拶をした 4 年生の富田さんは「ちょっとした疑問や不安について、WSP 学生の私たちに相談してほしい。WSP 学生の私たちが力になれば」と話していました。富田さんはまた「WSP 活動を通して、ピア・サポートの大切さを共有できる仲間を増やしていきたい」とも語っていました。

本活動に参加した編転入生からは、「不安ばかりだったが、いろいろな話が聞けて良かった」、「こういう機会をこれからもつくってほしい」との感想が寄せられました。

活動を終えた後、WSP 学生 4 年生の大竹さんは「WSP 活動に従事してとても勉強になった。学生生活で経験してきたことを活用して、これからも後輩たちをサポートしていきたい」と前向きな姿勢を示していました。

（本活動は、2023-2024 年度学長所管研究奨励金より一部助成を受けました）

*WSP（Work Study Program）は、学部には所属する学生が、研修を踏まえ、教員の監督のもとで、学内において学部が開催するさまざまな活動や授業、学生生活を支援するための補助的な業務に従事するプログラムを指します。

WSP 学生は、教員の監督のもとで、学内業務に参加することを通して、他の学生たちと交流・支援を積み重ね、学生による学生支援（ピア・サポート）の重要性について理解を深めることを目指しています。



